



下江 一将 議員
(清流会・かさいを育む会)

将来の不安を減らす ライフプラン講座の実施に向けて



問 物価高騰が続く中で、若年層や子育て世代の結婚や出産、子育てに対する意欲にどのような影響が出ていると認識しているのか。また、その影響をどのように把握されているのか。

答 物価高により子供の養育にかかる経済的負担が大きくなっていることは事実です。その影響を把握する手法として、アンケート調査も検討していきます。

問 市が実施する若者や子育て支援施策に、家計管理や将来設計を学ぶ金融教育やライフプランニングは含まれているか。

答 マネープランニングや起業・副業、扶養や税金の仕組みなどに加え、子育て生活に関する講座などを開催しています。ファイナンシャルプランナーによるセミナーなどを定期的に開催し、生活設計に役立ったと好評です。

問 若者や子育て世代が自身の将来像を描きやすくするために、ライフプラン講座の開催は必要ではないか。

答 そのような機会の提供は、若者や子育て世代が自立した人生設計を行うための重要な要素だと認識しています。

問 子育て世代が参加しやすい講座として、託児や親子参加、オンライン開催などの環境整備が必要ではないか。

答 アスでも開催することにより託児付きの講座が可能と

なります。また、オンラインによる動画配信や、eラーニングの活用など、子育て世代が参加しやすい柔軟な受講体制の整備が重要であると考えます。

問 ライフプラン講座の実施に当たり、外部専門家との連携体制の構築が必要ではないか。

答 包括連携協定を締結した生命保険会社の協力を得るなど、専門的な知見を持つ団体との連携を今後も積極的に進めていきます。

問 若者や子育て世代のため、ライフプラン講座の実施を前向きに進めていただけるのか。

答 これからの時代、ライフプランニング支援は非常に大事になってきますので、積極的に進めていきたいと考えます。



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

給食センター民間委託を性急に進めていいのか！ ～安全・安心おいしい給食を目指して～



問 運営方式検討委員会の設置と経緯。

答 学校給食センターの調理員37名のうち正職員は1名ですが、令和8年度末に退職を迎えます。また、調理員不足も続いており、今後の調理業務の在り方を検討する必要があるため、委員会を設置しました。安全安心な給食の提供や効率的な運営について議論を重ね、計3回の委員会を経て調理業務を民間委託とする答申を頂いたところです。

問 検討委員会の内容と問題点。

答 現状のまま給食を安定して提供するにはどうすればいいのか、また、市の方針として正職員は採用しないこと、委託した場合は委託料の方が高くなることなどについて話し合いました。

問 市民への働きかけ、アンケートや意見募集はされなかったのか。されるべきではないのか。

答 保護者に対する説明会や個別の意見聴取の機会は設けていませんが、保護者代表には検討委員会に参加していただきました。委託となっても、給食に対する安心や信頼は損なわれないものとして進めてきたところです。

問 市民への説明は必要。市民を置き去りにしていないか。

答 市としては、調理業務の民間委託の方向性を視野に、

20年以上前から正職員は雇用しない方針で現在に至っています。これまでの対応不足は反省する点がありますが、正職員がいなくなる現状での議論ということです。

問 20年前からの事情があったとしても、現在の直営の給食が本当によいと分かっているなら、どんな状況であっても改善していくことが市民のためではないのか。また、防災の観点から、給食センターは直営の施設として市職員がいることで地域住民の命を守る重要な拠点となり、安全安心でおいしく豊かな給食が提供できると考える。学校給食に対する市の考えは。

答 委託となっても給食や食育を大切にしたいという考えは何ら変わりません。これまでどおり食育活動に取り組みます。